

場所	分類
原子炉建屋内 RB	
タービン建屋内 TB	
R ZONE R	
Y ZONE Y	
G ZONE G	
その他() Z	

1

- ① 時間
- 2 距離
- 3 遮へい
- 4 線源の除去
- 5 遠隔、ロボット化
- 6 汚染拡大防止
- 7 その他

被ばく低減対策好事例集

番号

30-01-02

内 容	正確な被ばく線量算出を目的とした放射線管理情報収集方法		
作業場所	3号機 原子炉建屋		
概 略	被ばく低減対策を含む工事計画策定や除染などの工事成果を正しく評価するための放射線管理情報収集とその活用		
評価 (定性・定量)	効果	対策前	対策後
		被ばく線量(mSv)	--
		人工数(人日)	--

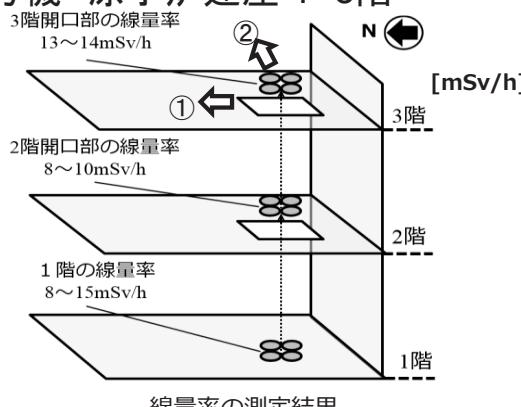
事例詳細

対策前 被ばく予測をするにあたり、点情報(2次元)を用いて計画策定を行っていた。

対策内容 より正確な情報収集として、線源位置の特定や3次元情報などの活用が可能となってきた。

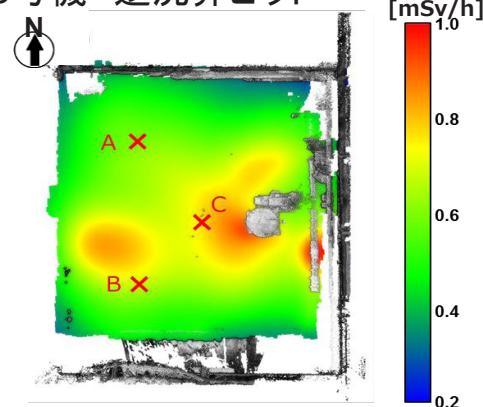
RISER		検出器 CZT半導体検出器 ~2500mSv/h
		寸法 W930×D830×H160mm
		重量 約4kg
		飛行時間 約15分
		カメラ HDカメラ2台（前方、下方）
		搭載センサー LRF（垂直、水平）、加速度センサー ジャイロセンサー

■3号機 原子炉建屋 1~3階



①と②方向の写真

■3号機 逆洗弁ピット



測定点	RISERによる評価結果	サーベイメータによる測定結果
A	0.6	0.5
B	0.6	0.6
C	0.8	0.7

(単位: mSv/h)